

2011年8月31日

各 位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 中 山 讓 治
(コード番号 4568 東証・大証・名証各第1部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 コーポレートコミュニケーション部長 齋 寿 明
TEL 報 道 関 係 者 の 皆 様 03-6225-1126
株 式 市 場 関 係 者 の 皆 様 03-6225-1125

インド、カメルーン、タンザニアにおける社会貢献（移動診療サービス）の実施について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区）は、このたび、インド、カメルーン、タンザニアにおいて、社会貢献プロジェクトとして移動診療サービスを今秋より実施しますのでお知らせします。

本活動は、インドにおいては、連結子会社のランバクシー・ラボラトリーズ（本社：インド共和国グルガオン市、以下「ランバクシー」）により設立された「ランバクシー・コミュニティー・ヘルス・ケア・ソサイアティー」を通じて、また、カメルーン、タンザニアにおいては、ランバクシーがこれまで培ってきた移動診療サービスに関する豊富なノウハウと経験を生かしながら、国際 NGO である「プラン・ジャパン」を通じて、実施します。

インドは乳幼児死亡数と妊産婦死亡数が全世界で最も多い国の一つであり、また、カメルーン、タンザニアは乳幼児死亡率と妊産婦死亡率が開発途上国の中でも高く、医療アクセス上の課題があります。本活動は、適切な医療サービスを十分に受けられていない方々の生命と健康に直接資するとともに、国連がグローバルな課題として提唱しているミレニアム開発目標（MDGs）にある「乳幼児死亡率の削減」、「妊産婦の健康の改善」、「HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止」へ寄与するものと考えています。

第一三共グループは、グローバルに事業展開する製薬企業として、国際的視野での医療アクセス向上に取り組んでまいります。

移動診療サービスの概要

1. 活動内容：移動診療車を用い、医療アクセスが限られている地域へ医療サービスを提供する
2. 提供サービス：基礎的医療、予防接種、妊産婦・乳幼児健診、啓発教育など
3. 活動期間：5年間
4. 寄付金額：5年総額 約2億円
5. 寄付先：ランバクシー・コミュニティー・ヘルス・ケア・ソサイアティー（インド）
国際 NGO プラン・ジャパン（カメルーン・タンザニア）

ランバクシー・コミュニティー・ヘルス・ケア・ソサイアティーとは

ランバクシーが設立した非営利団体（1979年「Ranbaxy Rural Development Trust (RRDT : ランバクシー地域開発基金)」がその母体となり、1994年当該 RRDT が発展し「Ranbaxy Community Health Care Society (RCHS)」が創設される）。インドでランバクシーの事業拠点地域を中心に移動診療活動などを展開し、母子保健（予防接種、妊産婦健診）や HIV/エイズの感染を予防するための啓発教育などを行っています。

プラン・ジャパンとは

プラン・ジャパンは開発途上国の子どもとともに地域開発を進める国際 NGO です。アジア・アフリカ・中南米の 50 カ国で、学校建設、予防接種、職業訓練など、子どもたちの能力と可能性を育む、年間約 1 万件の地域開発プロジェクトを実施しています。プラン・ジャパンホームページ <http://www.plan-japan.org/>

国連ミレニアム開発目標（MDGs）とは

2000年9月の国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言と1990年代に開催された国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたもので、下記の8つの目標が掲げられています。

- 目標 1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 目標 2 普遍的初等教育の達成
- 目標 3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 目標 4 乳幼児死亡率の削減
- 目標 5 妊産婦の健康の改善
- 目標 6 HIV/エイズ、マラリア、その他疾病の蔓延防止
- 目標 7 環境の持続可能性の確保
- 目標 8 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

以 上